

① 題：「聖霊に導かれて」(33 分)

221217

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝 13 章 1～3 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「患難から栄光へ」第 16 章

「神は地上の教会を光の通路とし、これを通して神の目的や意図をお伝えになる。……神は教会に、特別な権威と力とをおさずけになった。誰もそれを無視したり軽んじたりする資格はない。そうする者は神のみ声をあなどることになるからである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 150 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 238 番

② 題：「多くの罪を赦されたこと」(31 分)

240427

説教者 : 植田祐幸

聖書朗読 : テサロニケの信徒への手紙一 5 章 10 節

瞑想の言葉 : テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16～20 節

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。“霊”の火を消してはいけません。預言を軽んじてはいけません。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 402 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 151 番

③ 題：「心の扉よ、開け」(26 分)

240518

説教者 : 高崎憲文

聖書朗読 : ルカによる福音書 24 章 36～48 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「各時代の希望」下巻 342 頁

「弟子たちは、自分たちの働きの性質と範囲を理解しはじめた。彼らは、キリストが彼らにゆだねられたすばらしい真理を世にのべ伝えるのであった。キリストの一生のできごと、キリストの死とよみがえり、それらのできごとをさし示している預言、神の律法の神聖さ、救いの計画の奥義、罪のゆるしのためのイエスの力—— こうしたすべてのことについて、彼らは証人であって、それらを世に知らせるのであった。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 327 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 146 節

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>) に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。